



校長室だより

令和5年6月 1日

No.7

あじさいの花がきれいに色づいてきたと思ったら、今週は雨模様が続き、あれ？もう梅雨入り？じとじとじめじめが気になる季節です。ほんごうの子どもたちもこの季節が苦手な子が多いですね。体調管理に気を付けたいところです。

6月1日は開校記念日。きょうの「開校を祝う会」では子どもたちに「学校の誕生日だよ」と伝え、みんなで（リモートも含め）ハッピーバースデーの歌を歌ってほんごうの誕生日をお祝いしました。そして、今年は音楽集会として神奈川フィルハーモニー管弦楽団にお願いし、弦楽四重奏の演奏を楽しみました。誕生日にコンサートってなかなか素敵ですよ。子どもたちもそれぞれが弦楽器の調べにあわせて体を揺らしたり、じっと聞き入ったり、時には手拍子で盛り上げたりしていました。

さて、本郷養護学校ができて今年で44周年（前にもお伝えしたように、45周年と言う説もありますが、校長の考えとして今年は公式には44周年ということにしておきます）。44回目のお誕生日です。そして、開校から2年後の昭和56年9月に校舎が完成し9月14日新校舎で授業開始という記録があります。それが今のこのほんごうの校舎です。開校から2年ちょっとの間は今の日野中央高等特別支援学校のある土地に間借りしていたようです。新校舎ができたときはきっとみんな嬉しかったことでしょうね。なにしろ当時は「東洋一の養護学校」と言われたくらいですから。

なので、校舎自体は42歳ということになりますか。脂の乗り切ったいい年齢…といたいところですが、先輩たちの汗と涙の日々(?)の影響でしょうか、建物としてはいろいろなところに課題が…。それを補うため一昨年度は給食室の大改修工事、昨年度は外壁塗り替え、遊具の更新、体育館のエアコン設置、と大工事が続いています。さらに今年度もこの後、給水管の工事などが控えています（また足場が組まれるようです）。学校の工事関係は学校側が不具合や破損などで要望するものもありますが、一定額以上の工事はいくら校長がハンコ押してもダメで、市教委の決裁が必要なものや順番が決まっているものもあります。次の順番になっていてもその年の予算の関係で翌年に見送られることもよくありますし、かと思えば、急に着工が決まって、しかも立て続けにということも…。学校の修繕、工事はなかなか予定通りにいかないものですが、いずれにしても、普段の活動上、危険がなく安全な環境であることと、これからも長く後輩たちのためにしっかりした使いやすい学校であり続けるために大切なことだと思います。今まで学校の建物は70年が基準と言われていましたが、今後はより長くもたせることが求められると思います。社会の状況や価値観、子どもたちの様子、特別支援教育の在り方、いろいろなものが今後変化していくことと思いますが、それらをこの校舎はまだこれからもこの地でずっと見守り続けてくれることと思います。じゃあ、3年間大きな工事が続いても文句を言わない…ことにしておきます。

弦楽四重奏コンサート

